



## ナタウ(クリスマス会・夕食会)

12/15(土)

第3アリアンサでは、毎年ナタウ(クリスマス会・夕食会)が行われています。夕食を食べながら、日本語学校の学習発表会も見ていただきました。子供たちは、11月に行った低学年林間学校での歌と手遊びや楽器演奏、ダンスを披露し、大人は作文を発表しました。また、夏休み期間を利用して、祖父母宅に帰省している子供たちも、自分の特技を発表するなど、様々なプログラムを行い、とても盛り上がりました。



おいしい料理がたくさん！  
下は豚の丸焼きです！



会場の飾りも作りました！

婦人会のみなさんに協力していただき、お好み焼きを作りました。80人分ということで、3時間前から準備し、一気に焼き上げました。予想以上に好評で、焼く作業が間に合わないくらいでした。また、他の料理もやりましょうとリクエストをいただきました。来年のナタウも楽しみです！



# 久しぶりに顔を合わせて…

12月の初旬から、ブラジルの学校は夏休みに入りました。1月末までの長期休暇のため、祖父母宅を訪れる子供たちがたくさんいました。日本語学校は、12月中旬まで授業を行う予定だったため、日本語学校にも来てくれ、一緒に活動を行いました。日頃は4人程度しかいない教室も10人に増え、明るい声と笑顔に溢れました。



みんなでクリスマスツリーをかくて、クリスマス会で展示しました。

年齢や日本語能力に関係なく、いつでも楽しくいられる、子供たちの心の豊かさにびっくりさせられます。

## 編集後記



外が暗くなり始める時間が早くなり、外に出ると寒さを肌を感じ、いつも息が白く出て、冬の寒さから年の瀬を感じていた1年前とは、感じるものすべてが違います。富山ではイルミネーションにクリスマスツリー、そしてお正月の準備で、年末年始を感じていると思いますが、暑いとどうしてもその感覚がわいてきません。日頃気にすることはないですが、体の髓まで季節感が染みついていたのだと、気づかせてくれました。

暑いクリスマスは、本当に暑い中でしたが、たくさんの方が集まり、みんなで楽しめることは本当にかげがえのないものだと思います。暑くて、汗の止まらないクリスマスも年の瀬も、またいい思い出の一つになりました。